

第 12 回日本公衆衛生看護学会学術集会 開催案内

このたび、第 12 回日本公衆衛生看護学会学術集会を 2024 年 1 月 6 日（土）～2024 年 1 月 7 日（日）に、ハイブリッド開催させて頂く運びとなりました。第 12 回学術集会のテーマは、『自分らしく生きる』を支える公衆衛生看護活動を考える～新たな地域包括ケアの扉を拓く（ひらく）～』であります。

2020 年から COVID-19 ウィルス感染症拡大により、私たち一人一人が基本的な感染予防対策の実施を求められ、「健康」の価値や「あたりまえの暮らし」の維持の重要性を再認識いたしました。一方で少子・高齢化が進行する中、世代間で支える公的セーフティーネットの維持は危ぶまれ、地域社会の相互扶助機能も一層脆弱となっています。コロナ禍であっても地域住民が人生最期を自宅など住み慣れた場所で迎えたいという希望を気兼ねなく意思表示することができ、孤独死やセルフネグレクト、育児放棄など普通に生きることが困難な状況にならずに暮らせる社会をつくることは喫緊の課題となっていると考えます。

今回のパンデミックで社会の注目が寄せられた保健師は、個人と家族の支援を通して健康な地域づくりをめざし公衆衛生の第一線で活動しています。誰もが安心して「自分らしく生きる」ことを支える新たな地域包括ケアシステム構築は、保健師の重要な責務であると考えています。

そこで本学術集会では、上記のテーマを掲げ、先進的な公衆衛生看護活動の実践・研究から学び、多職種および地域住民と語り合い、未来を拓く人材の養（育）成を議論する場を企画しております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 12 回日本公衆衛生看護学会学術集会

学術集会 会長 尾形由起子（福岡県立大学看護学部）

学術集会 副会長 丹田智美（北九州市／全国保健師長会）

メインテーマ：「自分らしく生きる」を支える公衆衛生看護活動を考える
～新たな地域包括ケアの扉を拓く（ひらく）～

会 期：2024 年 1 月 6 日（土）・7 日（日）ハイブリッド開催
(2024 年 2 月 12 日（月祝）まで オンデマンド配信)

会 場：北九州国際会議場（〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野 3 丁目 9-30）
および Web

Web サイト： <https://japhn12.yupia.net/>

後 援：厚生労働省、文部科学省、公益社団法人 日本看護協会、福岡県、福岡市、北九州市、田川市、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県立大学、公益社団法人 福岡県看護協会、全国保健所長会、全国保健師長会、一般財団法人 日本公衆衛生協会、一般社団法人 日本産業保健師会、一般社団法人 全国保健師教育機関協議会（予定・順不同）

事 務 局：公立大学法人福岡県立大学看護学部
E-Mail： japhn12@fukuoka-pu.ac.jp（各種お問い合わせ先は最終ページ参照）

演題・ワークショップ登録期間 2023 年 6 月 1 日（木）～2023 年 8 月 31 日（木）
参加登録期間（前期） 2023 年 6 月 1 日（木）～2023 年 9 月 30 日（土）
参加登録期間（後期） 2023 年 11 月 6 日（月）～2024 年 2 月 12 日（月祝）

プログラム

※変更の可能性があります

□ 会長講演

「自分らしく生きる」を支える公衆衛生看護活動を考える～新たな地域包括ケアの扉を拓く～

座長：岡本 玲子 氏 (日本公衆衛生看護学会 理事長／大阪大学大学院 教授)
会長：尾形 由起子 (福岡県立大学 教授)

□ 基調講演

健康格差縮小に向けた取組～今後の地域包括ケアの展開にむけて～

座長：尾形 由起子 (福岡県立大学 教授)
講師：近藤 尚己 氏 (京都大学大学院 教授)

□ 特別講演

公衆衛生を衛る保健師の育成に向けて

座長：麻原 きよみ 氏 (聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授・研究科長)
講師：村嶋 幸代 氏 (大分県立看護科学大学 学長・理事長)

□ 公衆衛生看護セミナー1

公衆衛生看護におけるアドボカシー

～保障されるべき生活・健康がまもられていない人々にむけて～

鳩野 洋子 氏 (九州大学大学院 教授)

□ 公衆衛生看護セミナー2

アフガンに命の水を～中村哲氏が遺したもの～

藤田 千代子 氏 (ピースジャパンメディカルサービス (PMS) 総院長補佐/
ペシヤワール会 理事)

□ 公衆衛生看護セミナー3

公衆衛生看護におけるヘルスヒューマニティーズ

～保健師の人間性を示す態度教育の足掛かりとして～

麻原 きよみ 氏 (聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授・研究科長)

□ 公衆衛生看護セミナー4

データヘルスの効果的な推進～結果の出る保健指導に向けて～

阿波 友理 氏 (合同会社ヘルスサポートラボ)
中津留 深雪 氏 (合同会社ヘルスサポートラボ)

□ 公衆衛生看護セミナー5

健康長寿社会を実現するメディカルフィットネスの提案

鶴田 来美 氏 (宮崎大学 教授)
吉永 砂織 氏 (宮崎大学 准教授)
田中 喜代次 氏 (筑波大学 名誉教授)

□ 公衆衛生看護セミナー6

くつ王に学ぶ！感染症の最新情報～感染症の基礎と現状～

忽那 賢志 氏 (大阪大学大学院医学系研究科感染制御学 教授)

□ 公衆衛生看護セミナー7

自分らしいキャリアデザインと政策目標の実現のためのキャリアパス

～自治体保健師の立場から～

清田 啓子 氏 (北九州市総務局 安全管理担当部長)

□ シンポジウムA

新たな地域包括ケアの扉を拓く地域包括ケアシステムの構築

座長：尾形 由起子 (福岡県立大学 教授)
矢津 剛 氏 (矢津内科消化器科クリニック 理事長・院長)
シンポジスト：樋口 千恵子 氏 (特定非営利法人たんがくの家 理事長)
山口 のり子 氏 (田川市立病院医療支援センター
元 副センター長 兼 患者相談室長)
甲斐 優子 氏 (大分県立看護科学大学 教授)
矢津 剛 氏 (矢津内科消化器科クリニック 理事長・院長)

□ シンポジウム B

多様化する地域保健ニーズを支える保健師の人材育成を考える

～統括保健師の役割と実践から～

- 座長：松尾 和枝 氏（福岡女学院看護大学 教授）
松田 京子 氏（福岡県保健医療介護部健康増進課 参事）
シンポジスト：五十嵐 久美子 氏（厚生労働省健康局健康課 保健指導室 室長）
松本 珠実 氏（全国保健師長会 会長）
丹田 智美 氏（北九州市小倉南区役所 保健福祉担当部長）

□ シンポジウム C

「子どもの声を聴く」を活かす保健師の役割をもう一度考えてみよう♡

- 座長：田場 真由美 氏（名桜大学 教授）
シンポジスト：中板 育美 氏（武蔵野大学 教授）
大久保 真紀 氏（朝日新聞社 編集委員）
後藤 智江 氏（福岡市早良区保健福祉センター
子育て支援課 課長）

□ パネルディスカッション A

地域・職域連携のカギ「健康経営」とは～いまこそ連携強化のとき～

- 座長：中谷 淳子 氏（産業医科大学 教授）
パネラー：住徳 松子 氏（アサヒグループジャパン株式会社 統括保健師）
上村 景子 氏（全国健康保険協会福岡支部企画総務部保健グループ
保健専門職）

□ パネルディスカッション B

公衆衛生看護技術の明確化

～コロナ後の基礎から現任教育へのシームレスな人材育成を考える～

- 座長：眞崎 直子 氏（聖マリア学院大学 教授）
パネラー：佐伯 和子 氏（富山県立大学 教授）
岩本 里織 氏（神戸市立看護大学 教授）
宇野 千賀子 氏（滋賀県健康福祉部健康寿命推進課 参事・統括保健師）

□ パネルディスカッション C

健康危機管理～次の災害に備えた、平常時の準備と人材育成～

- 座長：春山 早苗 氏（自治医科大学 教授）
パネラー：山内 るみ 氏（熊本県阿蘇市健康増進課 課長）
吉富 豊子 氏（大分県福祉保健部健康づくり支援課 地域保健推進監）
今福 華枝 氏（福岡県朝倉市健康課 課長）

□ パネルディスカッション D

地域の実態と健康課題の可視化による、根拠に基づく政策の意思決定に向けた地域診断

- 座長：松本 憲子 氏（宮崎県立看護大学 教授）
パネラー：濱野 強 氏（京都産業大学 教授）
中尾 裕之 氏（宮崎県立看護大学 教授）
平田 佑三郎 氏（長崎県松浦市地域包括支援センター 保健師）

□ 拡大市民公開講座

住民サミット&ワールドカフェ in 福岡～住民による住民のための健康づくり～

- 座長：松尾 和枝 氏（福岡女学院看護大学 教授）
緒方 文子 氏（日本赤十字九州国際看護大学 准教授）

□ 朝活ミニセミナー

Let's Enjoy Exercise ～多世代交流運動プログラムの紹介～

- 鶴田 来美 氏（宮崎大学 教授）

□ その他

企画展 一般演題 ワークショップ 学会活動報告（会員集会）
共催セミナー・ランチョンセミナー 企業展示 等

以上

ハイブリッド開催の概要

※変更の可能性があります

2024年1月6日(土)・7日(日)

種別	現地会場	Web上
メインプログラム	各講演を実施します	メイン会場のみライブ配信を行います
一般演題	ポスター発表を実施します	発表ポスターPDFをオンデマンド配信します
ワークショップ	会場で実施します	世話人が希望する場合のみライブ配信を行います

2024年1月8日(月)～2月12日(月祝)まで

種別	Web上(オンライン開催ページ)
メインプログラム	準備が整い次第、記録動画をオンデマンド配信します(開催から1週間以内)
一般演題	発表ポスターPDFをオンデマンド配信します
ワークショップ	世話人が希望する場合のみ動画のオンデマンド配信を行います

※ 「ライブ配信」と「オンデマンド配信」について

- ・ Zoomなどで、その時間に実施されているものがリアルタイムに配信されるものを「ライブ配信」といいます。
- ・ これに対してオンデマンド配信は、Web ページに動画などを掲載しておくことで、配信期間内の好きな時間に、いつでも何回でも、ご自身の都合に合わせて視聴ができます。

学術集会の参加登録について

1. 参加費と参加登録期間

	会員 ^{※1}	非会員	学生 (フルタイムの院生を含む)
前期 6/1～9/30 入金は10/31まで	10,000 円	11,000 円	5,000 円
後期 11/6～2/12	11,000 円	12,000 円	

※1 会員として参加された方が開催終了時点で学会入会の手続きをされていなかった場合には、非会員の参加費との差額をご請求いたします。

<講演集について>

- ・ 講演集は PDF ファイルをダウンロードしていただく形で配布します。
- ・ 印刷冊子をご希望の場合には、1部 2,500 円(送料込)もしくは現地会場にて1部 2,000 円にて、どなたでも購入いただけます(売り切れの際はご容赦ください)。
注文方法は後日 Web サイトでご案内します。

2. 参加登録方法

- ・ 過去の学術集会に申し込んだ方も、第12回にご参加の場合は改めてお申し込みが必要です。
- ・ 学術集会 Web サイトから、オンラインにてご登録ください。
- ・ 自動返信メールにて、登録番号とパスワード、支払いのための URL 等が通知されますので、参加費をお支払いください(登録情報はポータル画面にログインして修正することができます)。

- ・ 入金確認後にはメールをお送りします。
- ・ 参加方法の詳細は 12 月中に Web サイトに掲載します。

3. 参加費のお支払いについて

- ・ 株式会社ユピアが収納代行を行います。お支払いは銀行振込、クレジットカード、Google Pay、コンビニ決済が利用できます。前期登録をされた方は 10 月 31 日までに入金してください。
- ・ 支払いの URL からの手続きから、銀行振込の場合は 60 日以内、コンビニ決済の場合は 14 日以内にお支払いください。期限切れとなった場合には再度 URL からお手続きをお願いします。なお、いずれの場合にも前期登録の場合は 10 月 31 日まで、後期登録の場合は 2 月 12 日までに お支払いください。公費支払いの場合も同様です。
- ・ 銀行振込を選択した場合は、請求書がダウンロードできます。
- ・ 振込先の口座番号は、申込された方それぞれで異なります。口座と申込者が紐づけされていますので、入金名義はどなたでも構いません。一方で、複数名まとめてのご入金ではできません。
- ・ 領収書についてのご案内は Web サイトに掲載しています。

4. 留意点・お願い

- ・ 学術集会参加費は学会員の年会費とは異なります。
- ・ 入金済みの参加費については原則としてご返金は致しかねます。
- ・ ネットワーク上のトラブル、入金口座の間違いなどにより登録が完了しなかった場合でも、その責は負いません。ご了承ください。

一般演題募集について

1. 一般演題について

以下の内容・形式の一般演題を募集します。
いずれの場合も、演題は発表時点で未発表のものに限ります。

項目	詳細
内容種別	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動報告 公衆衛生看護に関する実践的な活動をまとめたもので、他地域で同様の事業を展開する者に参考になるような報告。 活動目的、活動内容、活動成果、今後の計画・課題等について報告する。 ・ 研究報告 公衆衛生看護に関する調査・研究をまとめた報告。 研究目的、方法、結果、考察を論理的に報告する。
発表形式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 示説（現地発表 および オンデマンド配信） 基本的に、現地会場でポスターを掲示して発表する（発表時間 7 分程度予定）。あわせて発表用ファイル(PDF)をオンライン開催ページに掲載し、オンデマンド配信する。 参加者は掲載から会期終了までいつでもオンデマンド配信ファイルを閲覧・視聴可能。 (発表用ファイル(PDF)提出×切は 1 月 4 日頃予定。ファイルの作成および提出方法等の詳細は、査読結果通知後に改めて連絡する。)

2. 応募資格

- 1) 筆頭者・共同発表者は全員、本学会の会員であること。
(非会員の場合は、演題登録期間内に入会申込を行うこと。)
- 2) 筆頭者は必ず演題登録期間内に参加費を支払うこと。
(共同発表者の学術集会参加は任意とする。)
- 3) 一般演題において、筆頭者となれるのは1題のみ。
(複数演題の共同発表者となることは可能。ワークショップの筆頭者になることも可能。)

共同発表者には、演題登録前に必ず本学会入会への同意を得てください(学会の年会費が必要となります)。入会手続きについては学会 Web サイト (<https://japhn.jp/>) の「入会案内」をご参照ください。

3. 登録期間および方法

登録期間 2023年6月1日(木)~8月31日(木)

登録方法：学術集会 Web サイトから、オンラインにて登録(抄録本文 1,000 字以内)

- ・ 学会入会手続き中・会員番号不明の場合も登録が可能です。
- ・ 抄録の本文は 1,000 字以内で作成してください。改行も利用できますが、紙面の都合上、最終的なレイアウトは事務局にご一任ください。なお、図表は利用できません。
- ・ 必ず倫理的配慮および利益相反についてご記入ください。倫理的配慮の記載例やその他の詳細は学術集会 Web サイトでご確認ください。
- ・ 登録期間中は何度でも修正が可能です。詳細は登録後の自動返信メールをご覧ください。
- ・ 希望する発表領域を第 2 希望まで選択して頂きますが、調整の結果ご希望通りにならない場合がありますことをご了承ください。

4. 査読および通知、優秀演題の選考

- ・ 体裁、内容、倫理的配慮、利益相反の観点で査読を行い、10 月中旬頃に E-mail で査読結果をお知らせします。修正が必要な場合は 10 月中に修正して頂く予定です。
- ・ 発表演題群や演題番号、発表用ファイルの作成方法等は、11 月に E-mail および学術集会 Web サイトにてご案内します。
- ・ 発表用ファイルは 1 月上旬までに提出していただく予定です。優秀演題賞を選出し、表彰を行います。選考基準や方法は Web サイトでご確認ください。

ワークショップ募集について

1. ワークショップについて

1) 趣旨

ワークショップ(以下、WS)は、公衆衛生看護のテーマについて、参加者との意見交換を通じて理解を深め、学び合う、双方向的な発表形式です。また、公衆衛生看護に関連した内容について、公衆衛生看護のテーマに関連する保健活動の担当者や研究者の交流を目的とした場とすることも可能です(例: 新任保健師の交流集会、学校保健領域の交流集会等)。

(同窓会、宗教活動、単位認定を伴う研修会・講習会等をご遠慮ください。)

[留意点] 類似内容の申込がある場合には、プログラム委員会での審議の上、企画委員会で抽選とさせていただきます場合があります。また、研究成果ならびに最近の実践活動上のトピックスに関するディスカッションを目的としたもの、類似のテーマで他の学会等で実施していない企画を優先します。

2) 開催方法 ※予定であり、変更の可能性があります

- ・ 現地会場にて開催していただきます。
- ・ 会場に世話人ご自身で機材を持ち込み、現地開催の様子をライブ配信することも可能です。その場合、学術集会事務局は URL 等の告知を行います。配信用の機材は用意しません。
- ・ 会場のインターネット回線が利用できますが、接続数(数台まで)の制限があります。また、事務局ではトラブル発生時の責任を負いかねますこと、ご了承ください。

※ ご希望の場合は、開催の様子を記録した動画や発表内容の動画など、動画 1 件をオンライン開催ページに掲載し、オンデマンド配信することができます。

※ 開催日時および会場については学術集会事務局が指定します。

3) 企画費

WS 企画費として、1 企画あたり 10,000 円を申し受けます。学術集会当日にお支払ください。

2. 応募資格

- 1) 筆頭世話人・共同世話人は**全員**、本学会の会員であること。
(非会員の場合は、WS 登録期間内に入会申込を行うこと。)
- 2) 筆頭世話人・共同世話人は**全員**、WS 登録期間内に参加登録を行い、参加費を支払うこと。
- 3) WS において、筆頭世話人となれるのは 1 題のみ。
(複数 WS の共同世話人となることは可能。一般演題の筆頭者になることも可能。)
- 4) 同一グループからの応募は 1 件に限る。
- 5) 共同世話人がいることを原則とする(筆頭世話人のみでの申込は不可)。

共同世話人には、WS 登録前に必ず本学会入会への同意を得てください(学会の年会費が必要となります)。入会手続きについては学会 Web サイト (<https://japhn.jp/>) の「入会案内」をご参照ください。

3. 登録期間および方法

登録期間 2023 年 6 月 1 日(木)~8 月 31 日(木)

登録方法:学術集会 Web サイトから、オンラインにて登録(抄録本文 1,000 字以内)

- ・ 抄録本文は 1,000 文字以内で作成してください。改行も利用できますが、紙面の都合上、最終的なレイアウトは事務局にご一任ください。なお、図表は利用できません。
- ・ 抄録は構造化抄録とし、【趣旨】【内容】など内容を構造化する見出しをつけて記載してください。【趣旨】には、テーマの背景や参加者とともに考えたい論点を入れてください。【内容】には、報告内容についての倫理的配慮を含めて記載ください。また、利益相反に関する記載をしてください。
- ・ 本学会の過去の学術集会において、同様のテーマで WS を実施されたことがある場合は、過去の企画内容と今回の応募内容の関連性や発展性について抄録にお書きください。
- ・ 類似のテーマで他の学会等で実施していない企画を優先します。実施されたことがある場合は、登録フォームにて申告してください。
- ・ 登録期間中は何度でも修正が可能です。詳細は登録後の自動返信メールをご覧ください。
- ・ その他詳細は学術集会 Web サイトでご確認ください。

4. 査読と選考および結果通知

- ・ 内容、抄録の構成、倫理的配慮の適切性等の観点で査読および選考を行い、10月中旬頃に E-mail で結果をお知らせします。修正が必要な場合は10月中に修正して頂く予定です。
- ・ 最終的な採否や WS 番号、開催日時については11月中に E-mail および学術集会 Web サイトにてご案内します。

会場のご案内

北九州国際会議場 (JR 小倉駅より徒歩 5 分) <https://hello-kitakyushu.or.jp/access/>

J R 小倉駅から、雨の日も濡れずに動く歩道でスムーズにご来場いただけます。



- 第 12 回学術集会の参加・演題登録等に関するお問い合わせ
第 12 回日本公衆衛生看護学会学術集会運営事務局
〒456-0005 名古屋市熱田区池内町 3-21 (株) ユピア内
TEL : 052-872-8101 (平日 10-16 時) FAX : 050-3737-7331 E-Mail : japhn12@yupia.net
- 学会入会・学会年会費に関するお問い合わせ
一般社団法人日本公衆衛生看護学会 事務支局
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入西大路町 146 中西印刷 (株)
TEL : 075-415-3661 FAX : 075-415-3662 E-Mail : japhn@nacoss.com
日本公衆衛生看護学会ホームページ <https://japhn.jp/>

[開催中止の判断について] 感染症の流行等や災害により開催自粛や中止が必要な場合、日本公衆衛生看護学会理事長と協議の上速やかに現地開催/オンライン開催中止を決定し、学術集会をオンライン開催のみ、または講演集による誌上发表に切り替えます。中止決定は学術集会 Web サイトに緊急掲示するとともに、各演者等にはメール等でご連絡いたします。